

青梅吉野梅郷梅の里未来プロジェクト

青梅・吉野梅郷 梅の里再生・梅の苗木 植栽プロジェクト



助成区分	植栽	環境保全	調査・研究	教育・啓蒙		
実施状況	参加者数	38人	参加者満足度	100%	活動の全体目標に対する達成度	100%

課題

- ◇東京都青梅市の吉野梅郷地区の梅に、平成21年、国内初となる植物ウイルス「ウメ輪紋ウイルス」(プラムポックスウイルス)が発生。
- ◇平成26年3月に梅の木が全伐採された。
- ◇ウイルス防除対策の結果、平成28年度から梅の木の植栽が可能になったが、まだ植栽可能エリアが限られている。
- ◇10年かかるであろうと言われている吉野梅郷の梅の里再生を、一日も早く成し遂げたい。

活動内容

- ◇梅の苗木の植栽
梅の苗木を購入し、苗木を吉野梅郷地区の畑に植栽する。
- ◇イベントの開催
梅の苗木の植栽に参加していただいた植栽ボランティアの方々に「梅の里再生祭り」にも参加していただく。

成果

- ◇梅の苗木の植栽
 - ・全伐採前に梅の木が25,000本あったが、青梅市全体として、平成28年度の2,700本、平成29年度の1,400本、合わせて4,100本の梅の苗木の植栽が完了した。当NPOでは、平成28年度の106本、平成29年度の200本の植栽を行った。
 - ・国から示された指針のもと、造園技術者の方に指導していただきながら、植栽できることにより、植栽への知識、技術を高めることができた。
 - ・昨年植栽した苗木に小さな梅の実がついた。
- ◇イベントの開催
 - ・多くの方々にイベントにご来場いただき、植栽後の畑や梅の公園を観梅していただいた。
 - ・ご来場者に、梅の里再生の現状をお伝えすることができた。
 - ・植栽が可能になったこと、私たちの活動を多くの方々にご理解いただいた。

工夫した点

- ◇昨年は植栽したの苗木の状況が良くなかったが、今年はいい状態の苗木を植栽することができた。
- ◇昨年植栽した苗木がより成長しやすくするために、造園技術者に指導していただき、枝に適切な剪定を行った。
- ◇造園技術者の方に指導していただきながら植栽ができたため、効率よく植栽を行うことができた。

今後の課題

- ◇昨年植栽した106本のうち、約3割が苗木と土などの関係で枯れてしまい、その後さらに2割が枯れて、合計で約半分の50本が枯れてしまった。造園技術者の方と連携をとりながら、枯れないような対策をしていきたい。
- ◇現在、植栽できるエリアが農林水産省、青梅市の方針で限定されているため、次年度の申請ができなかったが、今後、農林水産省、青梅市の方針で植栽可能なエリアが拡大することから、改めてグリーンファンドへの申請をさせていただき、植栽を進めていきたい。